

学期	月	予定時数	題材名	学習内容	題材目標・学習目標	評価基準
1	4	1	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生の美術 ・年間計画、評価 ・今年の目標 	<ul style="list-style-type: none"> ・単に描いたり、作るだけではなく「形や色彩などを意識して見つめ、発見し、心を動かし、感動することから表現が生まれる」と美術の学習活動を共有する。 ・年間の授業や評価基準について理解する。 	
	5	1	自分を表す	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な自画像の作品を鑑賞し、作者の意図や表現の工夫を考える。 ・作品を鑑賞し気づいたことや感じたこと、考えたことを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵に込められた作者の意図や工夫に関心をもち、造形的な美しさを感じ取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫について考えるなど、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 ・主題に基づいた表現の工夫について考え、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	6	11	自画像 (今を生きる私へ)	<ul style="list-style-type: none"> ・自己と向き合い、自分の気持ちや性格、思い出や夢などについて考え、主題を生み出す。 ・主題を基に構図や色彩などを試行錯誤し、構成を工夫し構想を練る。 ・材料などの特性を生かし、意図に応じて創意工夫して表す。 ・自分や友達の作品を鑑賞し、表現の意図や工夫について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の心の中を見つめ、自分らしさや個性から主題を生み出し、構図や表情などの効果を考え、絵の具や用具などの特性を生かし意図に応じて創意工夫して絵に表す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の姿を深く見つめ感じ取ったことや心の内面などを基に主題を生み出し、構図や表情などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 ・材料の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して表している。 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表情の意図と創造的な工夫について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	8					
2	9	1	文化の継承／仏像に宿る心	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を鑑賞し、顔や手の表情がもたらす効果や、形や材料、質感、空間などの造形的なよさや美しさを感じ取る。 ・時代や種類、作者による特徴などを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・顔や手の表情がもたらす効果による全体のイメージなどを捉え、仏像彫刻の特色やよさの美しさに関心をもち、美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受け継がれてきた表現の特質などから仏像彫刻のよさや美しさを感じ取り、愛情を深めるとともに、作者の意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
	10	12	自分へ贈る卒業記念品	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの美術の授業で身に付けたことを生かして、使う場面や飾る場所を考えて主題を生み出す。 ・造形的な美しさなどを考えて構想を練る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・使う場面や飾る場所、思いなどから主題を生み出し、形や色彩、材料の効果を考え、意図に応じて自分の表現方法を追求して見通しをもってデザインし、木彫で表す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、材料の質感などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に、意図や効果など全体のイメージで意図や効果などを理解している。
	11			<ul style="list-style-type: none"> ・材料や用具の特性を生かしながら、見通しをもって創造的に木彫で表す。 		<ul style="list-style-type: none"> ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、見通しをもって制作している。
	12			<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友達の作品を鑑賞し、表現の意図や工夫について考え話す。 		<ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に使う場面や飾る場所、思いなどと調和のとれた美しさなどを感じ取っている。
1					<ul style="list-style-type: none"> ・表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 	

3	2	6	3年間の学びから ・これまでの美術の授業で身に付けたことを生かし、自ら主題を生み出し、自分の表現に合った材料や用具を選び表す。 ・自分や友達の作品を鑑賞し、表現の意図や工夫について話す。	・創造活動の喜びを味わい、3年間の学びを生かしながら表現	・形や色彩が感情がもたらす効果や造形的な特徴などを基に、全体のイメージを捉え理解している。 ・自ら主題を生み出し、自分の表したいイメージに合った材料や用具を選び、創造的に表している。
	3	1	3年間の授業を振り返る ・3年間の美術を振り返る。	教育の現場では、全員が美術を学ぶ機会が中学までであるが、これまでに身に付けてきた美術における資質・能力が卒業後も社会や生活を豊かに、よりよいものにしてくれ、一生大切であることを意識する。	・表現の意図や工夫を考えるなど、見方や感じ方を深めようと主体的に鑑賞活動に取り組んでいる。

- 平面
- 立体
- デザイン
- 鑑賞
- ICT